STORIA

ありのままでいい
きみの物語は
きみのもの

Be yourself.
Your story belongs to you.

2022年度 ANNUAL REPORT

2022年10月1日~2023年9月30日

認定NPO法人STORIA

CONTENT

STORIA

- 代表からのご挨拶
- Company Profile
- 2021年度の活動のご報告
- 2021年度の活動の会計のご報告
- STORIAを支えてくださった方々
- さいごに

子どもたちの未来をつむぐ
STORIA

代表挨拶

2022年度も、皆様のあたたかなお気持ちとご支援でSTORIAを応援いただきましたこと、心より感謝申し上げます。
皆様のご支援のお陰により、様々な困難を抱えている子どもたちに、子どもなら当たり前にあるはずの『日常』と、子どもたち一人ひとりの可能性が拓かれるための『非日常的な体験』を届けることができました。

私たちのすべての事業は、愛を表現する活動だと思って活動しています。2022年度は、約3,000世帯の親御さんや子どもたちと日々出会いました。
STORIAの全ての事業を通して、様々な困難を抱えている子どもたちや親御さんに、「一人じゃないよ」「存在しているだけで価値があるんだよ。生まれてきてくれて本当にありがとう。」を伝え届ける活動だと思っています。
困難を抱える親御さんや子どもたちに『愛ある関係性』を築くことで、ありのままの存在が受け入れられ、心が通ったつながりによって孤独を打ち消し、愛された経験によって、自分や他者を大切にすることができるようにと願いながら活動をしています。
STORIAに出会った子どもたちや親御さんが、たった一人でも「人生が変わった」と言ってくれるようになるために、2023年度も丁寧に、心を込めて、子どものサードプレイスや親御さんの相談支援事業、見守り支援等を続けていきたいと思います。

環境によって可能性が閉ざされることなく、本来ひとり一人に与えられている素晴らしい『人生の物語』を、
子どもたちが描けるようになるために、ご支援くださった皆さまの愛とともに、2023 年度もこの活動を子どもたちと親御さんに届けて参ります。
引き続きお力添えいただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

認定NPO法人STORIA
代表理事　佐々木綾子

Company Profile

子どもたちの未来をつむぐ STORIA

VISION

愛情が循環する未来へ

子どもと保護者を包摂する事業

子どもと保護者へ
寄り添う

社会に
理解と変化を

直接支援事業

困難家庭向け事業
困難を抱えるご家庭と子どもを対象

- ひとり親家庭等の相談支援事業
- ひとり親家庭等の就労支援事業
- 子どものサードプレイス事業
- 宅食緊急食料サポート事業

間接事業

他団体・企業・社会に向けた事業
法人・行政・国

- 団体向けノウハウ研修事業
- 人材育成事業開発SDGｓ等事業
- 啓発政策提言事業

Our Services

愛情が循環する未来をVISIONに掲げています

子どもたちの未来をつむぐ STORIA

Our Services

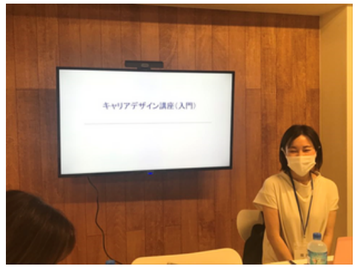
STORIAは「つながる」「相談で支える」「多様な事業で支え続ける」を行政や他団体・組織と連携を行いながら、子どもと保護者を包摂する事業を行っています。

こども
若者局
児童相談所

町内会
民生委員

他機関
他団体

こどものサードプレイス



ひとり親の就労支援

ステップ1：つながる	ステップ2：見守り・支える	ステップ3：支える続ける
アウトリーチ事業	相談・見守り支援事業	他組織・他団体連携事業

アウトリーチ・相談支援事業　ステップ1「つながる」

＜ひとり親等の相談支援事業＞

仙台市こども若者局をはじめ、町内会・民生委員等の連携をしながら、2,213世帯のご家庭とつながることができました。（2023年12月現在は約2,700世帯）。相談窓口の認知度も上がり、新規の方のご相談も増えたこと、また内容についても物価高の影響もあり、困窮や子育て、医療、離婚問題、教育費や命に関わる等の深刻な相談も増加しました。
STORIAからのメルマガによる情報提供はとてもニーズがあり、定期的なメルマガ発信によって「ひとりじゃないと感じられます。」「必要な時に必要な情報が届き、とても助かります。」という声を多数いただいています。

こども
若者局
児童相談所

町内会
民生委員

他機関
他団体

ステップ1：つながる

アウトリーチ事業

＜2022年10月1日～2023年9月30日の実績（8期）＞

2,213
世帯

5,227
件
相談

90
件
連携

相談・見守り支援事業　ステップ2「見守り・支える」

＜見守り・食支援事業＞
物価高の影響も大きく、「所持金が数百円です。」「子どもに食べさせる食料が尽きました。」等の切迫した相談も増えていました。また、様々な困難が重なるご家庭へ定期的に訪問をしました。学校に行けなかったり、親御さんの時間や経済、精神的な状況で、どこにも行くことができない子どもたちには、ご寄付でいただいた本を届け、世界を広げる経験をお渡ししています。毎回楽しみに待っているお子さんがたくさんおり、親御さんができないことを社会の大人が代わって経験を届ける活動を続けています。

ステップ2：見守り・支える

相談・見守り支援事業

食支援の内容

＜2022年10月1日～2023年9月30日の実績（8期）＞

4,181
世帯
食支援

504
世帯
訪問

他団体・組織との連携事業　ステップ3「支える続ける」

＜子どものサードプレイス事業＞
子どもたちがありのままでいられ、安心して過ごせる居場所を2016年から作っています。IQの土台となるEQ（心と生きる力）を育み、子どもたちの一人ひとりの可能性が拓かれる経験を子どもたちと一緒に創っています。
「愛情と最高の経験」を通して自分と他者を大切にし、自分の人生を自分で選択し、自分らしい幸せな人生を送っていくことができるよう願いながら活動を行っています。

＜夕食の時間＞

＜触れ合う時間＞

ステップ3：支える続ける

他組織・他団体連携事業

921人
来所

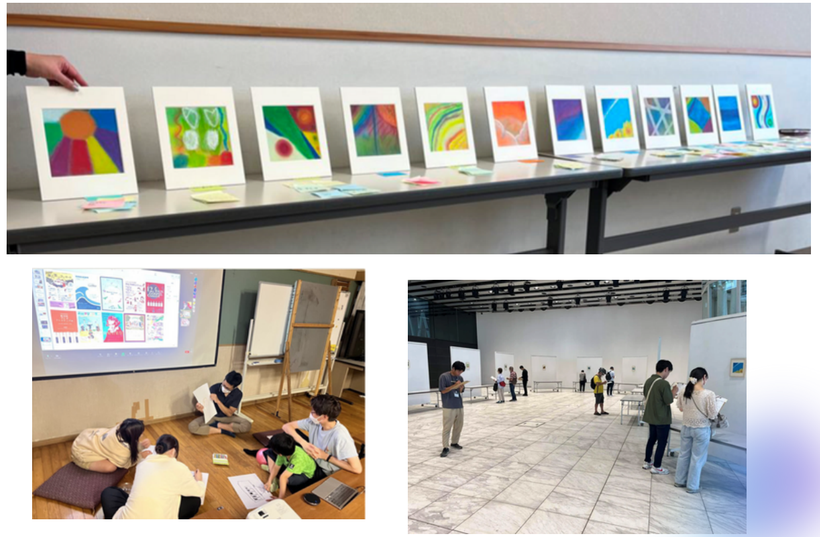
＜2022年10月1日～2023年9月30日の実績（8期）＞

他団体・組織との連携事業　ステップ3「支える続ける」

＜子どものサードプレイス事業：体験プログラム＞
なぜ、「愛情と最高の経験」が大切かというと、私たちは困難の連鎖をストップすることはプロセスであり、その先には「子どもたち一人ひとりが自分らしく生きられ、幸せになってほしい」という願いがあるからです。
子どもたちが「自分は存在しているだけで価値がある」と心から受け取ることが、この後の子どもたちの人生を大きく変え、力強く生きていく糧になると信じているからです。
また、私たちは一人ひとりの子どもには、もって生まれた才能を生かして人や社会を愛していく力があると信じています。

＜本気鬼ごっこ＞

＜子どもの日＞



＜EGAKU：展覧会＞

ステップ3：支える続ける

他組織・他団体連携事業

＜2021年10月1日～2022年9月30日の実績（8期）＞

他団体・組織との連携事業　ステップ3「支える続ける」

＜就労支援事業＞
①STORIAの就労支援プログラム「My Story」を半年間をかけて実施し、第1期生が卒業しました。自分の特性や強みを分析しながら、ひとり親家庭の理解のある企業様へ就職を支援するプログラムです。卒業後も一緒に学んだ仲間として、共に励まし合いながら関係性を築いています。

②仙台市様・ママスクエア様・大和リース様と協働で就労支援セミナーを実施しています。STORIAにつながっているご家庭を中心に、ママスクエア様の「子連れでも未経験でも就労できる経験」をご提供いただきながらキャリアアップを重ねていく事業です。就労のお悩みも多いため、新規事業として2021年度から実施しました。

ステップ3：支える続ける

他組織・他団体連携事業

10名

就労支援プログラム
「MYSTORY」

24名

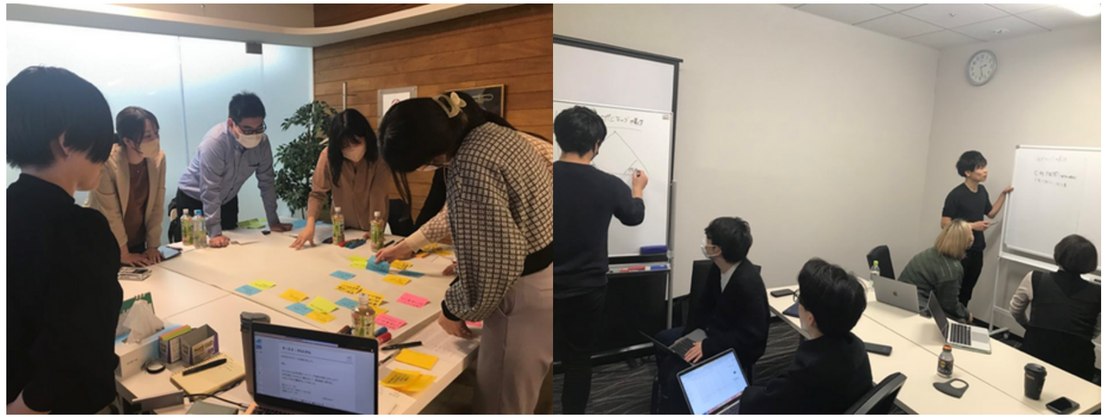
協働
就労支援セミナー

＜2022年10月1日～2023年9月30日の実績（8期）＞

その他事業　「社会に変化と理解を」

＜企業研修事業＞

NPOは、支援のみならず少しでも社会を変えていく法人としての役割があります。
その文脈で、企業様の新人研修、幹部候補研修、経営者研修など、STORIAの組織開発の治験を生かし、企業研修を実施しました。自分や他者、社会の幸せとは何か、自分の使命や役割、価値観を大切にする生き方研修が主でした。



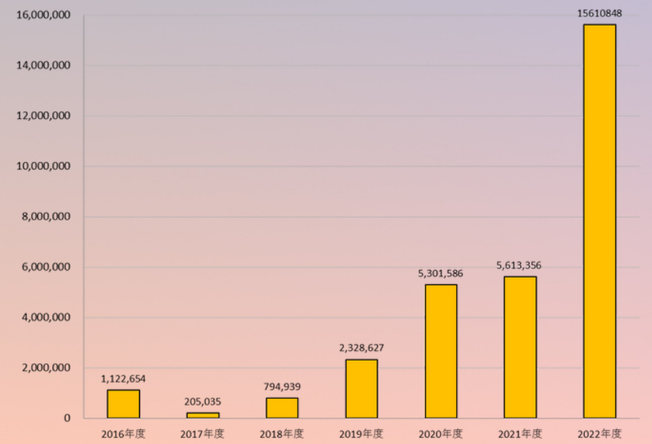
＜啓発事業＞

STORIAのプロボノさんが毎月啓発事業の一環として、ワークショップを開催しています。参加くださった方々に、今子どもたちが置かれている現状や、優しい未来をつくるためにはどうしたらよいか等、対話形式のワークショップを開催しました。
毎回、参加された方々から、あたたかい感想が送られてくるような場づくりをプロボノさん主体で行っています。

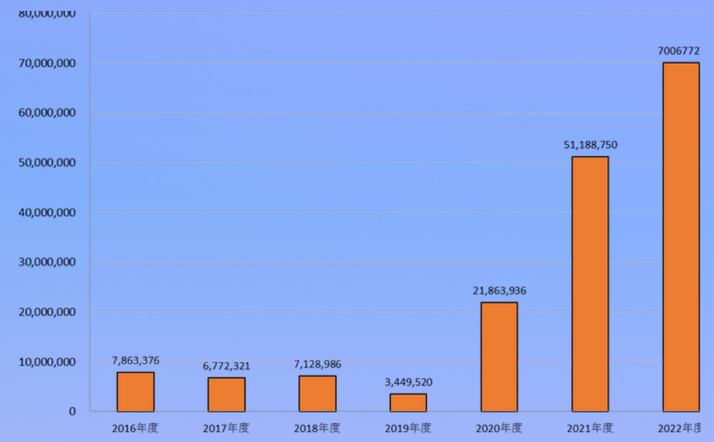
2021年度会計報告

2021年度より、経常収益は約2千万円増。
支援数もかなり伸びました。

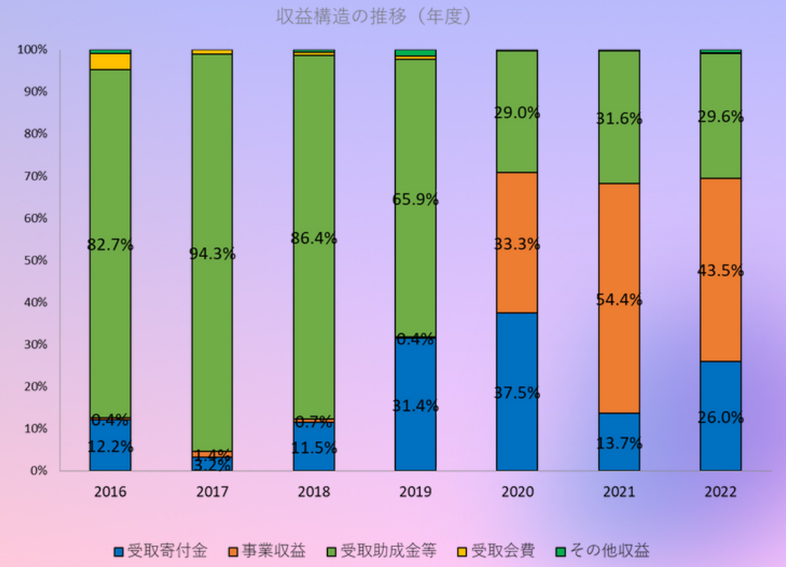
プロボノ主体のクラウドファンディング等により、寄付額が1千万円増えました。



2021年度より、経常費用は経常収益の範囲内で収まりました。



収益のポートフォリオのバランスを取ることができました。



STORIAを支えてくださった方々

- **probono**

- **Volunteer**

- **Supporter**

- **Adviser**

- **Staff**

さいごに

2022年度も、たくさんの方々に支えられ、勇気と励ましをいただきましたこと、心から感謝申し上げます。

「愛情が循環する未来へ」というビジョンを掲げながらも、それは数十年も先のことにように思っていました。

STORIAのサードプレイスに通ってくれていた子どもたちが高校生となり、ボランティアとして子どもたちを支えられる側から支える側になっています。
この場面を見ていると、STORIAの活動によって「愛情の循環は起きている」と心から確信し、
皆様と共にこの活動を続けてきて本当によかったと思っています。

ボランティアできていた高校生のMちゃんは、この居場所があって自分にはとても良かったと話してくれました。

「どうしてMちゃんにとって、この場所があって良かったのかな？」と聞くと、
「この居場所で、子どもでいさせてくれてありがとう。」と話してくれました。

愛情の循環がもう始まっているSTORIAで、少しでも多くの子どもたちに出会い、
愛情を子どもたちや親御さんに流していく団体として2023年度も尽力して参りたいと思います。

2023年度もご支援や応援を、何卒よろしくお願い申し上げます。　　代表理事　佐々木綾子